

2022年
町田市議会

第一回
定例会

18歳までの子ども医療費助成

2023年4月実施へ

日本共産党



第93回三多摩メーデーにて
(左から) 田中美穂、佐々木とも子、細野りゆう子、殿村健一市議

町田市は、「東京都の新たな補助制度を活用し、2023年4月から18歳

所得制限・窓口負担なしを要求

町田市議会2022年第1回定例会が3月9日〜30日まで行われました。日本共産党市議団は、市議選でかけた公約実現に奮闘。市長が提案した2022年度一般会計予算については反対をしました。その理由は、①学校統廃合や図書館削減など公共施設再編推進、②40億円をかける(仮称)国際工芸美術館「一体化」整備、③「4つのもり」と多摩都市モノレール前提のまちづくり、④福祉関連事業廃止や削減、国保財政への繰入れ削減などです。市民が出した「本町田小の存続求める請願」や「本町田東小を統廃校にしないでください」と「国保税の値上げを行わないことを求める請願」は、賛成少数(共産党は賛成)で不採択になりました。

学校統廃合など公共施設再編計画はやめて、いのちと暮らし、教育優先の予算に転換を!

共産党市議団、一般会計予算に反対討論

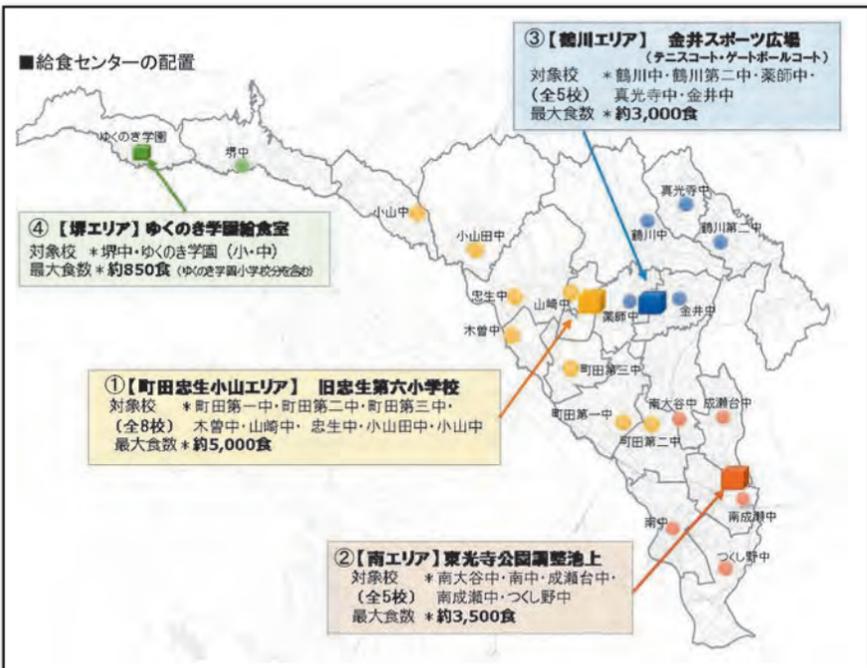


までの医療費助成制度を実施できるように準備していく」と、佐々木とも子市議の一般質問に答えました。現在、子どもの医療費は乳幼児は無料。中学3年までは窓口負担200円ですが、昨年度から所得制限が撤廃され、入院も薬も無料です。日本共産党市議団は、18歳まで医療費助成制度が拡充されるにあたり、23区のように所得制限や窓口負担をなくすよう引き続き求めていきます。

中学校全員給食整備計画を進んでいます!

2024年度から順次スタートする町田市の中学校全員給食。2022年度予算では、「まちだの中学校給食センター計画」にもとづき、給食センター

の整備、運営を行う事業者を選ぶ予算、町田忠生小山エリアの給食センター整備の準備として旧忠生六小の解体工事の予算が組まれています。田中市議が、全員給食の意義を質疑し「給食は生きた食育の教材。皆が統一したメニューで、栄養をとりながら食を味わい、そして食を学んでいくことが大切」と答弁がありました。市民の皆さんと一貫して求めてきたことが反映されています。



給食センター等の配置。市の資料より抜粋

「ロシアによるウクライナ侵略及び核による武力威嚇に対し抗議する決議」全会一致で可決



日本共産党
町田市議団ニュース

2022年5・6月号

発行●日本共産党町田市議団
町田市森野2-2-22

電話●042-724-4030
FAX●042-724-4042
メール●jcp.machida.shigidan@gmail.com

日本共産党町田市議団

検索